

～腎臓の働きについて～

★腎臓は主に次の5つの働きをしています★

1. 老廃物の排泄

エネルギー源となる物質が体内で利用された結果できた老廃物を尿として排出します。

また、体に必要なものは再吸収し、体内に貯める働きをしています。



2. 血圧を調整

腎臓は、塩分と水分の排泄量をコントロールすることによって血圧を調整しています。

血圧が高いときは、塩分と水分の排泄量を増加させることで血圧を下げます。

血圧が低いときは、塩分と水分の排泄量を減少させることで血圧を上げます。

また、腎臓は血圧を維持するホルモンを分泌し、血圧が低いときに血圧を上げます。

腎臓と血圧は密接に関係し、腎臓の働きの低下によって高血圧になることもあります。



3. 体液バランスの調整

電解質（ナトリウム カリウム カルシウム リン等）の濃度や量を調整し血液を弱アルカリ性に保ちます。また、体に必要なミネラルを体内に取り込む役割を担っています。

4. ビタミンDの活性化

ビタミンDは腎臓で活性化されて初めて、一人前の働きをする活性型ビタミンD3に変化します。

活性型ビタミンDはカルシウムの吸収を促し

骨を丈夫に保つという大切な役割を果たしています。



5. 造血刺激ホルモン（エリスロポエチン）の分泌

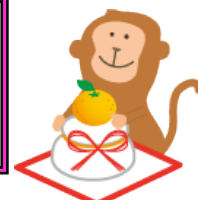
血液（赤血球）は骨髄の中にある細胞が、腎臓から出るホルモン（エリスロポエチン）の刺激を受けてつくられます。



腎臓の働きは簡単に説明すると・・・

体内に必要な物、欲しい物を体内に取り込み

不要な物を調整して排出するといった働きをしています！





～透析用監視装置（コンソール）について～



透析用監視装置(コンソール)とはみなさんのベッド横の機械です。

主な役割として、透析液や血液の流れ、除水量、除水速度、除水時間、抗凝固剤(ヘパリン)の注入量、透析液の温度などを調節し、監視を行っています。

透析中に、もし何か異常が起こればアラームが鳴ります。

アラームの種類には、静脈圧上限、下限アラーム、気泡アラームなどがあります。

コンソールにはアラームの種類を簡単に表示するようになっており、スタッフが確認でき対応をすぐに行えるので安心して透析を行うことができます。

MEとしては、より安全に安心して治療して頂けるように

☆週1回のフィルターの掃除・カプラーの洗浄

☆半年に1回のETCF(エンドトキシンカットフィルター)の交換

☆半年に1回の保守点検を行っています。



ニプロ社製 NCV-2



ニプロ社製 NCV-1



今年は暖かいはずが・・・



腎センター 西田 剛

「透析だより」も月毎に発行する様になり、新年を迎える事となりました。昨年中は暖冬であった事もあり、体調がすぐれない方は少なかったように思います。

しかし、ここ数日で例年にない大寒波。暖かいのだから寒いのだか、わからない様な冬になってきております。体調に関してはくれぐれも気を付けて頂きたいと思っております。

私事ですが、松原徳洲会病院に赴任して4年が過ぎようとしています。天王寺より南に赴任する機会がなかったものですから、近鉄電車を使用するのは初めてでした。当初は電車を乗り継ぎ、乗り継ぎ通勤するのが大変で、天王寺の改札に入る前に休憩したくなる時も頻回にありましたが、今では近鉄電車に愛着がわくようになってきました。

しかし、普通電車しか利用しませんので、春には特急電車に乗り吉野に桜を見に出かけてみようかと考えております。



今回に関しては透析に関係した記事ではなく挨拶文だけとなりましたが今年もスタッフ一同よろしくお願いたします。



今年もよろしく
お願いたします

